

# 強者の戦略

2022 年度 京大英語 IV〔問題編〕

今回は京都大学の自由英作文の問題を扱う。テーマは比較的書きやすいはずだが、英語で自分の意見を書くことに慣れていない人にとっては「100 語」という指定語数は長く感じるかもしれない。解説を読む前に、15 分ほど時間を取って自分の答案を作成してみしてほしい。

## IV 自由英作文

大学で研究をするうえであなたが最も重要と考えることを一つ挙げ、その理由を 2 点に絞って 100 語程度の英語で具体的に説明しなさい。

# 強者の戦略

2022 年度 京大英語 IV [解答解説編]

## 【模範解答例】

When you conduct research at university, you need to be prepared to abandon your initial hypothesis when necessary. First, every researcher must admit that anyone is prone to making mistakes. Even Einstein was famously wrong in some of his ideas about gravity. Science is all about an endless cycle of hypotheses and experiments, so you should not stick to your original idea once evidence emerges against it. Furthermore, persisting in one way of thinking often narrows your perspective, making it difficult to achieve breakthrough discoveries. The purpose of research is to find the truth, not to prove yourself right. Therefore, university researchers should embrace various possibilities and examine them impartially. [110 words]

(大学で研究を行う際には、必要とあらば最初の仮説を放棄する覚悟を持たなければならない。まず、すべての研究者は、どんな人も誤りを犯しやすい存在であることを認める必要がある。あのアインシュタインでさえ、重力に関するいくつかの考えについては誤りを犯していたことで知られている。科学とは仮説と実験の終わりのない循環であり、反証となる証拠が現れたなら、最初の考えに固執すべきではない。さらに、一つの考え方に固執し続けることは視野を狭め、画期的な発見を成し遂げることを難しくしてしまう。研究の目的は自分が正しいと証明することではなく、真理を見いだすことである。したがって、大学の研究者はさまざまな可能性を受け入れ、それらを公平に検討すべきなのである。)

# 強者の戦略

## 【解説】

京都大学に限らず、あらゆる自由英作文において、最も大切なことは「問われていることに論理的に答える」こと、「語彙や文法上の誤りがない英文を書く」こと、この2点に尽きる。どちらも当然のように思えるが、特に前者に関しては、英語の拙さに足を取られて肝心の設問の意図から大きく外れてしまった答案が毎年数多くみられる。これではいくら頑張っても英文を書いたところで、採点者としては点数を与えようがないだろう。

京都大学の英語入試では、自由英作文の出題傾向は1つに定まっておらず、柔軟な対応力が求められる。今回取り上げる2022年度の問題は典型的な意見記述型の自由英作文だが、「理由を2点に絞る」ことが条件となっている。「絞る」といっても、そもそも2つも理由が思い浮かばない、という高校生も多いのではなかろうか。ある程度場数をこなして、アイデアを思いついてから英語に落とし込むまでの流れを自分のものにしておきたい。このタイプの自由英作文の対策には、英検1級のライティングの過去問が難易度・形式共にふさわしい。

## 【論理的な答案作成】

さて、今回の問題は「大学で研究するうえで重要なこと」が問われている。高校生にとってはなかなか想像しにくいテーマではあるが、「科学/学問に取り組むうえで重要なこと」と読み替えれば、以下のような方針は思いつくかもしれない。

- |          |  |
|----------|--|
| ・ 批判的思考力 | 理由① 通説や先行研究が間違っているかもしれないから<br>理由② 常に批判を繰り返すことで研究の質が高まるから         |
| ・ 柔軟性    | 理由① 当初の仮説が間違っている可能性もあるから<br>理由② 仮説への固執が視野を狭め、発見を妨げるから            |
| ・ 知的好奇心  | 理由① 関心分野を研究することで情熱が維持できるから<br>理由② より深い探究、より本質的な心理の発見につながるから      |
| ・ 他者との対話 | 理由① 一人では気づけない視点や欠点を指摘してもらえらるから<br>理由② 異なる背景を持つ研究者との議論が新たな発想を生むから |

上記のいずれも内容としては何ら問題ないだろうから、あとは正しい英語に落とし込めれば満点答案の出来上がり、ということになる。

# 強者の戦略

ここで注意したいのは、1 つ目の理由と 2 つ目の理由が重複したり、いつの間にか自分の主張とずれていたりしないか、ということである。例えば、「批判的思考力」について書く場合、以下の答案の欠陥に気付くだろうか。

## 【論理展開に問題がある解答例①】

Critical thinking is the most important quality when doing research at university. First, common theories and previous studies may be wrong, so researchers should not accept them without question. If students believe everything written in textbooks, they may misunderstand the subject they are studying. It should be remembered that all knowledge is a hypothesis that has not yet been proven wrong. Second, basing research on incorrect ideas can easily lead to incorrect conclusions. Once a wrong assumption is accepted, all later experiments and discussions will also be influenced by it. Therefore, university students must think critically to avoid mistakes and reach correct conclusions in their research. [106 words]

(大学で研究を行ううえで、批判的思考は最も重要な資質である。まず、一般に受け入れられている理論や過去の研究が誤っている可能性もあるため、研究者はそれらが無批判に受け入れるべきではない。学生が教科書に書かれていることをすべて信じてしまうと、学んでいる分野を誤解するおそれがある。すべての知識は、まだ誤りであると証明されていない仮説にすぎないということを忘れてはならない。第二に、誤った考えに基づいて研究を進めると、誤った結論にたどり着きやすい。一度誤った前提を受け入れてしまうと、その後の実験や議論はすべてその影響を受けてしまう。したがって、大学生は研究において誤りを避け、正しい結論に到達するために、批判的に考える姿勢を身につけなければならない。)

上記の答案で述べられている理由は以下の 2 つである。

理由① 通説や先行研究が間違っているかもしれないから

理由② 間違った考えを根拠にすると間違った結論にたどり着くから

この 2 つは独立した異なる理由ではなく、「間違った通説や先行研究を批判なしに受け入れると間違った結論にたどり着くから」という 1 つの理由を分割しただけだ。内容が重複しており、冗長な答案になっている。

# 強者の戦略

また、次のような答案はどうだろうか。

## 【論理展開に問題がある解答例②】

I believe that critical thinking is the most important ability in university research. First, by questioning existing ideas, researchers can discover new facts that were overlooked by others. This attitude helps academic fields continue to develop, instead of being trapped in old assumptions. Second, critical thinking is also useful in daily life, because it allows people to make better decisions about their future, such as choosing a career or solving personal problems. For instance, when you are about to graduate from university and must choose a career path from many options, you need to compare them critically and make the best choice. [102words]

(私は、大学での研究において最も重要な能力は批判的思考力だと考えている。第一に、既存の考えに疑問を投げかけることで、研究者は他の人が見落としてきた新しい事実を発見することができる。この姿勢は、学問分野が古い前提に縛られることなく発展し続ける助けとなる。第二に、批判的思考は日常生活においても有用であり、進路選択や個人的な問題の解決など、自分の将来に関わるより良い判断を下すことを可能にする。たとえば、大学を卒業しようとする段階で多くの選択肢の中から進路を選ばなければならないとき、それらを批判的に比較し、最善の決断を下す必要がある。)

こちらの答案では以下のように述べられている。

理由① 批判的思考によって新たな事実を発見できる可能性が高まる

理由② 批判的思考によって人生の重大な決断を正しく下せる

2つ目の理由は、「大学で研究をする」という問題の趣旨から明らかに外れていることが分かるだろうか。日本語で書くと一目瞭然に思えるが、英作文となるとこのレベルの論理的な破綻が優秀な学生の答案にも頻繁に見られる。自分の主張とその理由、そして具体例までが全て一本の線で繋がっているかどうか、実際に答案を作成し始める前の段階で必ず確認してほしい。

# 強者の戦略

## 【語彙や文法の誤りがない答案作成】

答案が論理的に繋がっていれば、あとはそれを正確な英文に落とし込んでいくだけである。とはいえ、ここでも多くの生徒が壊滅的なミスを連発し、「何を言っているのか分からない」答案が多数生み出される。

正しい英文を書く上で意識してほしいのは、「①使い方を知っている単語以外は使わない」こと、「②文構造のミスを確実に避ける」ことだ。同じ言葉を何度も使わないように、最低限のパラフレーズができる語彙力は必要だが、いくら難しい言葉や構文を使ってもそれだけでは評価の対象にはならない。思い浮かんだ動詞が他動詞か自動詞か、自動詞だとすれば後に続く前置詞は何か、確信がなければその動詞を使うのは避けて代替案を探すべきだ。また、文構造が破綻しているレベルの文法ミスは採点者にとって非常に悪印象で、大きな減点は避けられない。出来るだけ平易な表現を使って、「採点者がストレスなく一度で理解できる」答案を作成できれば、表現面では確実に合格水準に達すると言える。

以下に、実際に現役の高2生に作成してもらった答案を掲載する。優秀な生徒だが、英作文となるとまだまだ改善の余地が見られる。今回は論理的な問題点には目を瞑るとして、表現上の間違いに気づき、どう修正すべきか考えみてほしい。なお、添削の都合上、各文に番号をつけている。

## 【生徒の解答例】

① I think that keeping on suspecting is one of the most important thing when your research on something in your university. ② One of the reason why I think so is that you can see a lot of aspects of things. ③ Even if they seems to be correct when I think about them for the first time, it might be wrong when I do in another way. ④ The other reason is that suspecting may help us to find a new hypothesis. ⑤ If you assume that the hypothesis is completely accurate, you never suppose whether it is really accurate in scientific views. ⑥ Therefore, you should suspect everything again and again.

高2生であることを考えると、よく書けている部類の答案であることは確かである。そのうえで、特に気を付けたいミスと修正案を以下に示す。

① suspect は「(確証はないが)～だろうと思う」の意味でここではふさわしくないので、動詞の question 「～に疑問を呈する」を用いる。(以下の文でも同様)また、one of ...のあとには必ず複数形名詞。

→ I think that constantly questioning things is one of the most important things when you do research at university.

# 強者の戦略

② 表現上大きなミスはない。Why I think so がやや冗長。

→ One of the reasons for this is that you can see many different aspects of an issue by being skeptical.

③ they が何を指すかが元の答案ではかなり曖昧。また、when I do in another way も目的語がなく do が指す内容が不明。

→ Even if a theory seems correct at first, it may turn out wrong when examined from another perspective.

④ 表現上大きなミスはない。hypothesis は「見つける」ものではないので develop などがよい。

→ Another reason is that questioning existing ideas may help us develop a new hypothesis.

⑤ the hypothesis とあるがこれは前述の a new hypothesis とは別のものなので冠詞は a にすべき。また、if 節の内容と whether 以下の内容が重複しており意味が不明瞭。

→ If you assume that a hypothesis is completely accurate, you will never question whether it is truly valid from a scientific perspective.

⑥ 表現上大きなミスはない。everything はやや大げさ。

→ Therefore, researchers should continually question their assumptions.

## 【最後に】

最難関大学の英語において、自由英作文は間違いなく大きく差がつく設問である。得意な生徒は 10 分程度で満点に近い答案をさらりと書き上げてしまうだろうし、逆に苦手な生徒は、倍の時間をかけてもほとんど得点にならない場合もありうる。このことを踏まえると、和訳や長文読解だけでなく、英作文の訓練も疎かにすることはできない。日々の学習の中で多様な話題に触れ、使えそうな表現を収集すると共に、定期的にアウトプットの機会を作り、自分の力で答案を作成する力を磨いてほしい。